

資料17（午前）	平成31年3月18日
障害福祉サービス等に係る事業者説明会	
千葉県障害福祉サービス課	

平成31年1月10日

指定重度訪問介護事業者 様

千葉県保健福祉局高齢障害部  
障害福祉サービス課長

重度訪問介護における熟練従業者の同行支援に係る新任従業者の範囲について

平素より、本市の障害福祉行政の推進に御理解・御協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。  
重度訪問介護における熟練従業者の同行支援の取扱いについては、平成30年10月2日付けで通知したところですが、新任従業者の範囲について、本市の取扱いを下記のとおり定めますので、ご留意ください。

# 記

- 新任従業者が当該重度訪問介護事業所に採用される以前に、ヘルパー等の業務に従事していた場合の取扱い

採用（異動）される以前の従事先の法人		採用（異動）される以前に従事していた業務			
		重度訪問介護の従事	障害の居宅介護・同行援護・行動援護の従事	介護保険の訪問介護等のヘルパー従事	その他（障害施設や介護施設、GHや生活介護の支援員や事務員等）
別法人		○	○	○	○
自法人（人事異動等）	同事業所	×	○	○	○
	別事業所（支店等）	○	○	○	○

- ・○は新任従業者と見なす。×は新任従業者と見なさない。
- ・期限の定めのある雇用契約書を取り交わしている従事者について、更新等の従事者は新任従業者としては認められません。

## （留意点）

自法人での人事異動等で重度訪問介護に新たに従事する場合、新任従業者と見なします。なお、実地指導等で確認しますので、異動日（重度訪問介護事業所としての採用日）がわかる書類を整備しておいてください。（例：辞令等）

資料17（午前）	平成31年3月18日
障害福祉サービス等に係る事業者説明会	
千葉県障害福祉サービス課	

## <参考>

### 【新任従業者について】

#### （留意事項通知）

二人の重度訪問介護従業者による重度訪問介護について、それぞれの重度訪問介護従業者が行う重度訪問介護について所定単位数が算定される場合のうち、第546号告示第2号ロの「当該利用者への支援に熟練した指定重度訪問介護事業所等の従業者の同行が必要であると認められる場合」とは、区分6の利用者に対する支援が、重度訪問介護事業所に新規に採用された従業者（利用者への支援が1年未満となることが見込まれる者及び採用からおよそ6ヶ月を経過した従業者は除く。以下「新任従業者」という。）であるために、意思疎通や適切な体位交換などの必要なサービス提供が十分に受けられないことがないように、当該利用者への支援に熟練した重度訪問介護従業者（当該利用者の障害特性を理解し、適切な介護が提供できる者であり、かつ、当該利用者へのサービスについて利用者から十分な評価がある重度訪問介護従業者のことをいう。以下「熟練従業者」という。）が同行してサービス提供を行うことについて、市町村が認める場合を指す。

#### （国QA（問39））

「新規に採用された従業者（採用からおよそ6ヶ月を経過した従業者は除く。）」の「およそ」とは、どの程度の期間の幅が認められるのか。

#### （答）

基本的には、採用後6ヶ月を経過するまでとするが、新規に採用された従業者が、事故等のやむを得ない理由により一時的に業務に従事できない期間等があった場合は、6ヶ月を超えて本取扱いの対象としても差し支えない。

### 【市内事業者からの問い合わせ】

#### （問い合わせ1）（Q1）

自法人でヘルパー以外の職務に従事していた者が、異動により新たにヘルパーとして配置された場合、新任従業者と見なしてよいか。

- ・自法人で運営している認知症対応型GHの職員として、5～6年前より従事していた。  
（GHはヘルパー事業所と同一敷地内にある）
- ・法人内での異動により、新たに居宅介護・重度訪問介護の職員として事業所に配置される予定。

#### （回答1）（A1）

新任従業者と見なす。

#### （問い合わせ2）（Q2）

別法人でヘルパーの職務に従事していた者が、転職により新たに採用された場合、新任従業者と見なしてよいか。

- ・別法人で、訪問介護事業のヘルパーとして従事していた経験有り。
- ・障害福祉サービス（居宅介護・重度訪問介護）におけるヘルパー経験なし。

#### （回答2）（A2）

新任従業者と見なす。